

科目名	教育原理	担当教員	正平辰男・本多辰之	学年	期別	形態	必選	単位数
				1	前期	講義	選択	2

【授業の目的及び到達目標】

教育原理の包括的理解には実践的側面と理論的側面が必要であり、それぞれの視点から、教育原理の体験的学習深化を促進する。実践的側面に関しては、現代の学校教育が抱える諸問題や実践例をめぐり、その背景にある社会状況及び教育の意義と課題を検討する。理論的側面に関しては「教育の理念並びに教育に関する歴史および思想」の事項について理解を深める。

【授業内容】

現代の学校教育が抱える諸問題や実践例をめぐり、その背景にある社会状況及び教育の意義と課題を検討する。子どもの生活体験の欠損と過剰がもたらす教育困難について考察しながら、地域・家庭の教育力回復の方策についても考察する。また、「教育の理念並びに教育に関する歴史および思想」について教授する。

【授業計画】

1	教育とはなにか～発達への助成的介入	9	学習の進め方（後半9講以降）・人間と教育
2	教育と教化と形成	10	教育思想①（ソクラテス・コメニウス等の教育観）
3	教育は誰が担うのか - 家庭と生活体験	11	教育思想②（ロック・ルソー等の教育観）
4	教育は誰が担うのか - 地域・環境と生活体験	12	教育思想③（ペスタロッチ・フレーベル等の教育観）
5	学校制度とその特色	13	目指す教師と保育士像と教育の諸課題・小論文とは
6	学校教育の目標と教育課程	14	現代の教育問題と幼児教育の課題・小論文の書き方
7	子どもにとっての社会教育	15	小1プロブレムと保・幼・小の連携・小論文の書き方
8	学校における人権教育の推進	16	試験

【関連科目】

「教師論」 「生徒指導論」 「教育心理学」

【受講心得】

ノート、筆記用具を持参し、受講中は私語・携帯電話操作等をせず、授業に集中すること。授業の進行状況により授業計画の一部変更もあり得る。

【成績評価の方法】

レポート提出（20%）、定期試験による評価を（50%）基本とし、受講態度（30%）も考慮する。担当教員の合議により評価する。

【教科書】

『子どもの生活体験学習をデザインする』 光生館 （「教師論」でも使用する）

【参考書】

参考文献を適宜紹介し、資料を配付する。

【オフィスアワー】

正平：随時質問は受け付けます。
本多：随時質問は受け付けます。

【備考】

卒業必修・栄養教諭課程必修・小学校教諭課程必修・幼稚園教諭課程必修・保育士課程必修

科目名	教育心理学	担当教員	渡部 明	学年	期別	形態	必選	単位数
				1	前期	講義	選択	2

【授業の目的及び到達目標】

教育心理学は、教育現象を心理学的に解明し、その成果を教育の改善に役立てることを目指す実践的性格の学問である。その分野には、発達や学習の基礎理論から人格形成、能力やその評価、障害児の心理、教育や学校カウンセリングまで、非常に幅広い内容が含まれている。本講義では、そのそれぞれについて教授することで、教育心理学の基礎知識を培い、またその考え方を修養することを目標にする。

【授業内容】

発達や学習の基礎理論から人格形成、能力やその評価、学習の動機づけや学習指導の形態、学校の心理等について教授する。

【授業計画】

1	オリエンテーション	9	学習意欲
2	発達段階と発達課題について	10	自己実現
3	発達の規定因、生涯発達の心理	11	記憶のしくみ
4	生涯発達の研究法	12	知能
5	認知・感情の発達	13	学校の心理学
6	社会性の発達	14	学校評価と測定
7	道徳性の発達、社会的スキル	15	発達と教育の支援
8	学習の過程	16	試験

【関連科目】

「教師論」 「教育原理」 「生徒指導論」 「道徳」

【受講心得】

ノート、筆記用具を持参し、受講中は私語・携帯電話操作等をせず、授業に集中すること。授業の進行状況により授業計画の一部変更もあり得る。

【成績評価の方法】

出席回数（10%）、授業中の態度（10%）、レポート課題（10%）、試験（70%）を総合的に判断して評価します

【教科書】

なし。

【参考書】

講義中に指示する。

【オフィスアワー】

質問等は随時受け付ける。

【備考】

栄養教諭課程必修

科目名	道徳	担当教員	渡部 明	学年	期別	形態	必選	単位数
				1	前期	講義	選択	1

【授業の目的及び到達目標】

教育の目的は、「人格の完成をめざす」ところにあるが、道徳教育はまさにこの人格の形成の基本に関わるものである。文部科学省の学習指導要領には、人格の形成のために小学校では二十二の道徳項目が、中学校では二十三の道徳項目が教えられるべき内容として掲げられている。本講義では、これらの道徳項目の核心をなしているものに迫っていくことにしよう。

【授業内容】

以下の観点に即して教授していく。1. 道徳及び学校教育における道徳の意義と価値、道徳教育の目標。2. 各発達段階における道徳性の特徴とその指導法。3. 道徳の指導内容の理解と指導案。4. いじめ問題・人権教育。

【授業計画】

1	オリエンテーション、道徳教育の意義と目標
2	各発達段階における道徳性の発達状況と特徴
3	「道徳」の時間の内容構成についての理解
4	道徳教育の指導計画及び道徳指導案（1）
5	道徳教育の指導計画及び道徳指導案（2）
6	いじめ問題・人権教育について理解を深める（1）
7	いじめ問題・人権教育について理解を深める（2）
8	まとめ
9	試験

【関連科目】

「教師論」「教育原理」「生徒指導論」「教育心理学」「特別活動」「教育方法論」「教育相談」

【受講心得】

ノート、筆記用具を持参し、受講中は私語・携帯電話操作等をせず、授業に集中すること。授業の進行状況により授業計画の一部変更もあり得る。

【成績評価の方法】

出席回数（10%）、授業中の態度（10%）、レポート課題（10%）、試験（70%）を総合的に判断して評価します

【教科書】

なし。

【参考書】

『小学校学習指導要領 解説―道徳編―』 文部科学省 『中学校学習指導要領 解説―道徳編―』 文部科学省

【オフィスアワー】

随時。

【備考】

栄養教諭課程必修

科目名	特別活動	担当教員	正平 辰男				
			学年	期別	形態	必選	単位数
			1	前期	講義	選択	1
【授業の目的及び到達目標】							
特別活動においては、集団の一員として望ましい態度と実行力を身につけることが求められる。家庭や地域社会における教育力の低下が指摘される現在、特別活動は児童・生徒が行動、体験を通して自尊感情を高め、自己を生かしつつ、人間としての生き方を学ぶ必須の学習活動である。特別活動の重要性を具体的に認識するとともに、効果的な指導法を修得することを目標とする。							
【授業内容】							
小中学校における教育課程の編成・実施・評価について学習指導要領の概要をふまえて、「特別活動」の目標・内容および指導方法について学び、実践的な指導力を高める。							
【授業計画】							
1	学校教育と生活体験の関連構造						
2	教育課程の編成と学習指導要領について						
3	学習指導要領における特別活動の位置づけと目標について						
4	特別活動の内容 ①学級活動の目標と指導法						
5	特別活動の内容 ②児童会・生徒会活動、クラブ活動の目標と指導法						
6	特別活動の内容 ③学校行事の目標と指導法						
7	特別活動の内容 ④学校給食の指導						
8	特別活動の指導計画・実施・評価について						
9							
【関連科目】							
「教師論」 「道徳」 「教育原理」 「教育心理学」 「生徒指導論」							
【受講心得】							
講義内容の要点筆記と講義中に提供される資料の縮約など、「書く」ことを課します。課題は、講義の終わりまたは次回講義の初めに提出すること。							
【成績評価の方法】							
試験（50％）、出席（20％）、課題提出・受講態度（30％）。							
【教科書】							
『特別活動概論』 長沼豊・柴崎直人・林幸克編著 久美株式会社 小学校学習指導要領解説特別活動編 文部科学省							
【参考書】							
『小学校学習指導要領』 『中学校学習指導要領』 文部科学省 『通学合宿・生活体験の勧め』 正平辰男 著 あいり出版							
【オフィスアワー】							
随時質問は受け付けます。							
【備考】							
栄養教諭課程必修							

科目名	教師論	担当教員	正平辰男・渡部明	学年	期別	形態	必選	単位数
				1	後期	講義	選択	2

【授業の目的及び到達目標】

教職の意義や教師の役割、職務内容などに関する学習を通して、自分が本当に教師という仕事に情熱をもって取り組むことができるかを、多角的に考察する機会を提供する教職入門である。

【授業内容】

現代のこどもの姿をリアルに描き、それに対応した教師の仕事の内容を整理し、教師に求められる資質能力を多面的に学ぶ。そして、教員採用の実態を明らかにし、教師の待遇や研修など、学校制度と管理運営の概要を学ぶ。

【授業計画】

1	学校と子どもの生活 - 遊び、メディア、身体	9	教師の資質能力 - これまでの教師
2	学校と生活体験-学力と生活実態	10	教師の資質能力 - 教師のいま
3	学校管理・運営-学校制度	11	教師の資質能力 - 学ぶことと教えること
4	学校管理・運営-運営体制・校務分掌	12	教師の仕事 - 学習指導
5	教員の地位と身分 - 教員の待遇、研修	13	教師の仕事 - 生徒指導・教育相談・進路指導
6	教員の養成・採用 - 教員採用制度	14	教師の仕事 - 学級経営
7	学校管理・運営 - 教師に求められる資質能力	15	教員の地位と身分 - 教員の地位と身分
8	教員の養成・採用 - 教職課程の仕組みと内容	16	試験

【関連科目】

「教育原理」「生徒指導論」「特別活動」「教育方法論」「教育相談」

【受講心得】

ノート、筆記用具を持参し、受講中は私語・携帯電話操作等をせず、授業に集中すること。授業の進行状況により授業計画の一部変更もあり得る。

【成績評価の方法】

出席（10%）、平素（40%）、定期試験（50%）で総合判断。

【教科書】

『子どもの生活体験学習をデザインする』 光生館 （「教育原理」でも使用する）

【参考書】

講義中に指示。

【オフィスアワー】

随時質問は受け付けます。

【備考】

栄養教諭課程必修 1-7正平担当、8-15渡部担当

科目名	学校栄養指導論	担当教員	下村 久美子 百武 シズ代	学年	期別	形態	必選	単位数
				1	後期	講義	選択	2

【授業の目的及び到達目標】

近年の児童・生徒を取り巻く社会的背景、食に係る課題や問題点などを理解し、栄養教諭としての使命、役割、食に関する専門性を認識する。また、学校における食に関する指導の方法を理解するとともに、指導者として基礎的な技能を修得し、演習を通して実践できる力を身につける。

【授業内容】

児童及び生徒の栄養に関する指導及び管理をつかさどる栄養教諭の役割や職務内容、児童及び生徒の食生活の実態と問題点、食生活の歴史と食文化について学ぶ。さらに、さまざまな場面に適応した食に関する指導方法について学習する。

【授業計画】

1	オリエンテーション（栄養教諭とは）	9	食に関する指導の方法（特別活動、道徳など）
2	栄養教諭の役割と職務内容	10	食に関する指導の方法（給食の時間における指導）
3	児童・生徒の栄養に関わる現状と課題	11	食に関する指導の方法（食物アレルギーなど）
4	学校給食の意義、役割、現状	12	食に関する指導案の作成、教材研究1
5	食文化の変遷と学校給食	13	食に関する指導案の作成、教材研究2
6	学校における食に関する指導の現状と課題	14	指導案の発表、相互批評
7	学校における「食に関する指導」の全体計画	15	模擬授業
8	食に関する指導の方法（家庭科その他の教科）	16	試験

【関連科目】

「栄養指導論」「栄養指導実習・演習」「栄養学」「臨床栄養学概論」「食事療法」

【受講心得】

履修中は、質疑応答に積極的に参加すること。

【成績評価の方法】

定期試験の成績(60%)、試作指導案(20%)、受講態度(10%)及び出席状況(10%)を総合的に判断して決定する。

【教科書】

『学校栄養教育論』 笠原賀子著 医歯薬出版

【参考書】

『子どもの心と体を育てる食事学』 藤沢 良知著 第一出版

『食に関する指導の実際』 田中 信 他監修 小学館

『栄養教諭論—理論と実際—』 金田 雅代編著 建帛社

【オフィスアワー】

後期 火曜日5時限

【備考】

栄養教諭課程必修
学生の理解度や進行状況により授業内容を変更することがある。

科目名	生徒指導論	担当教員	正平 辰男		学年	期別	形態	必選	単位数
					1	後期	講義	選択	1
【授業の目的及び到達目標】									
生徒指導は、児童・生徒の個性の伸張を図りながら、社会的な資質や行動力を育成し、将来において社会的に自己実現ができるような資質・能力を形成していくための指導援助をする営みであって、単に児童・生徒の問題行動への対応にとどまるのではなく、児童・生徒が自己実現を目指し自己を形成していくことを指導援助する教育活動である。このことを、生徒指導の意義、原理、方法等を教授することで理解させ、実践的な指導力を培わせる。									
【授業内容】									
児童・生徒の自己実現に向けた教師の役割、生きる力を育む生徒指導のあり方について、指導理論・方法論からアプローチする。そのため、グループ討議などを取り入れて学習を進める。									
【授業計画】									
1	オリエンテーション、生徒指導の意義、内容								
2	生徒指導の進め方								
3	生徒指導の諸課題と解決の方法①（いじめ）								
4	生徒指導の諸問題と解決の方法②（不登校）								
5	生徒指導の諸問題と解決の方法③（その他の問題）								
6	児童・生徒理解（カウンセリング）								
7	生徒指導と学級経営及び校内体制								
8	生徒指導の視点に立った授業づくり								
9									
【関連科目】									
「教師論」「教育原理」「教育心理学」「教育方法論」「教育相談」「道徳」「特別活動」									
【受講心得】									
出席状況と受講態度を重視する。									
【成績評価の方法】									
定期試験50%、通常の授業態度50%（出席状況・受講態度30%、課題提出内容20%）により総合的に評価する。									
【教科書】									
文部科学省編『生徒指導提要』教育図書株式会社									
【参考書】									
『図説生徒指導と教育臨床』 秋山俊夫監修 北大路書房									
【オフィスアワー】									
質問等は、随時受け付けます。									
【備考】									
栄養教諭課程必修									